

令和元年度 第2回理事会議事録

◇日時：令和元年11月10日(日)10:00～

◇場所：仙台市医師会館 5階ホール

住所：〒984-0806 仙台市若林区舟丁 64-12

◇出席者：藤巻、大柳、渡辺、鈴木(里)、佐藤、高橋、小堺、播磨、今野、及川、小野寺、金沢、
武田各理事、大森監事、丸勢監事

◇欠席者：菅原、阿部、高崎、鈴木(宏) 理事

◇議長：藤巻 慎一

◇書記：播磨 晋太郎

1. 前回議事録の確認

質問、意見なく承認された。

2. 理事行動

1) 9月13日(金) 第9回宮城医療安全研究会 幹事会並びに研修会 (TKPガーデンシティ仙台21F カンファレンスルーム21E)：大柳

2) 10月4日(金) 令和元年度北日本支部内連絡会議：藤巻
詳細については議事録(会長①)を参照して頂きたい。

議題として

① 令和2年度北日本支部研修会について

② 北日本支部医学検査学会(第9回)について

③ 北日本支部学術部門活動について

④ 第69回日本医学検査学会について話合われた。

北日本支部医学検査学会(第9回)については10月17、18日に盛岡で行われる。

第69回日本医学検査学会の一般演題が現時点で400演題程度(500演題を目標)であり、
宮城県20演題ほどである。締め切りも迫っているが、協力をお願いしたい。

3) 10月5日(土) 北日本支部ブロック会議：藤巻・渡辺

渡辺：日本臨床検査連盟についての内容が主であった。宮城県は連盟への加盟者数が少ない(10月3日時点で14名)、会員数を基にした目標数は134名(達成率10.5%)である。各県で対策を考えて、加入者の掘り起こしをお願いしたい。

藤巻：自民党員への加入も合わせて、お願いしたい。

4) 10月7日(月) 宮城県精度管理専門委員の打ち合わせ会：藤巻、高崎

宮城県管轄の衛生検査所の立ち入りに同行する(今年度は2施設)。

5) 10月12日(土)(一般) 宮城県理学療法士会 創立50周年・法人設立10周年記念式典(ホテルメトロポリタン仙台)：大柳

6) 10月17日(木) 仙台市精度管理専門委員の打ち合わせ会：小堺・播磨

11月、12月に仙台市管轄の衛生検査所の立ち入りに2施設ずつ同行する。詳細については、後日、報告する。

7) 10月27日(日) ピンクリボン講演会スタッフボランティア(仙台市国際センター展示棟)：
大森、小野寺、武田

8) 11月7日(木)宮城県医師会健康センター仙南分室への立ち入り：藤巻

以上の理事行動について報告があり、承認された。

3. 審議事項（別紙理事会資料・添付資料参照）

【会長】藤巻慎一

1) 愛媛県臨床検査技師会よりお見舞金の寄付について

台風19号の被害へのお見舞金として、5万円を寄付したいという申し出があった（宮城県、福島県、岩手県へ）。

⇒寄付金についての受け取りが、承認された。使い道については、後日、相談する。

【事務局】鈴木里香

1) 役員推薦委員について

総務と協力をして、別紙の通り、役員推薦委員を選出した。承認を頂きたい。

大森：県北の方が含まれていないのではないかと。

藤巻：選出方法として、まずは前年の経験者の方をお願いをした。県北の方にも打診したが、システム更新等でいろいろと忙しいという理由でお断りされた。その中で、宮城県臨床検査技師会になるべく関与している方に声をかけて、内諾を頂いた。

⇒役員推薦委員については、反対意見なく承認された。

2) 次年度総会：正会員向け定期便（紙印刷物）発送の全廃についての提案・承認方法及び会報・ニュースみやぎの印刷発行について

印刷費並びに発送費の高騰に伴い、紙印刷物の全廃を実施したいが、

宮臨技定款 第41条2項では、理事会は、理事会で議決、決定及び承認した事項を会報に掲載し、会員への周知を図るものとする明記されている。

現在、ニュースみやぎに議事録を掲載し、会員への周知を図っている状況である。

現在、理事会の議事録はホームページ上にも掲載している。

ホームページへの掲載のみであれば、定款の変更又は修正が必要となる。

定款の変更には、正会員の2/3以上の賛成が必要となる議題となる。

丸勢：紙を廃止する方向は良いと思う。紙でない形で会員全員に周知できるかは確認が必要ではないか。会報は紙を想定しているため、電子化する際は、定款の変更が必要ではないか。定款を変更する際に、電子的方法のみにするのか、紙を含めた方法にするかは審議が必要である。現在、議事録はホームページ上に掲載されているが、会員向けと一般向けの区別が必要ではないか。定款の変更は何度も行うことは良くないので、次回の総会までに定款全体の見直しも必要である

大柳：ここ最近で、定款の見直しはいつ行われたのか。

丸勢：平成27年度に実施した。

金沢：議事録が掲載される時期が、会員がわからないのではないかと。議事録が掲載されたタイミングで会員向けメールでのお知らせが必要。掲載だけでは、不十分である。

会員向けのパスワードの設定には、費用がかかるため広報部で確認する。

大柳：PDFにパスワードをつけてアップロードすれば、費用はかからない。パスワードはメールで通知すれば良い。

⇒正会員向け定期便（紙印刷物）発送の全廃については承認。次回の理事会にて、施設向けの

案内文を提出する。会報・ニュースみやぎの印刷発行の廃止については、定款の変更が必要。
次回の理事会にて、議案を審議する。

- 3) 令和元年12月14日(土)～15日(日) 日本臨床検査技師会館について
日臨技から、災害時連絡責任者または推薦者の参加要請あり、三役検討で鈴木事務局を推薦したい。
⇒鈴木事務局長の参加が承認された。

【学術部】小堺利恵

- 1) 日本検査医学学会で、精度管理事業に関連する発表をしたいとの申し出が病理部門員よりあった。
⇒小堺、播磨で抄録を確認する。
精度管理調査案内においても、精度管理調査の結果を学会発表等で使用すると記載あり。
- 2) 学術規約の改訂について(添付資料 学術①～⑧)
- ① 日臨技生涯教育への行事入力・宮臨技HPへの掲載について
3版：事務局からホームページ運営会社へ連絡する(事実上は、学術部長が行っている)。
改定案：事務局または学術研修会入力担当者からホームページ運営会社へ連絡する。

藤巻：現状、事務局員が行うのは現実的ではない。お願いできる方はいるのか。

小堺：声をかけて、内諾を頂いている方がいる。

⇒承認された。但し、学術研修会入力担当者には、個人情報等守秘義務に関する誓約書を提出してもらう。

② 研修会受付方法について

- 3版：会員の参加登録は、PCと名簿の両方を使用する事
改定案：事前申し込み制を原則として名簿記載を省略。事前申し込みをしない参加者用、非会員用に名簿を準備する。
⇒承認された。事前参加には、できる限りJAMTを使用する。

③ 研修会の参加費-1について

- 3版：会員500円、非会員1500円とする。
改定案：会員1000円、非会員5000円とする。
⇒承認されたが、会員への説明は必要。

④ 研修会の参加費について-2

3版：研修会ごとに特性(実技を含むなど)があるため一律定額としない。
500円を超える場合は企画書の提出段階で、学術部長へ申請し、理事の承認を得ること。
改定案：研修会ごとに特性(実技を含むなど)があるため一律定額としない。
1000円を超える場合は企画書の提出段階で、学術部長へ申請し、三役の承認を得ること。
⇒意義なく、承認された。

⑤ 講師に対する謝金の支払いについて

3版：県内会員講師：上限10,000円(税込11,137円)とし、以下の時間規定に準ずる。
30分以内を5,000円(税込5,568円)、30分から60分までを10,000円(税込11,137円)。
改定案：県内会員講師：上限20,000円(税込22,274円)とし、以下の時間規定に準ずる。
30分未満を5,000円(税込5,568円)、30分以上90分未満を10,000円(税込11,137円)。
90分以上を20,000円(税込22,274円)とする。
⇒承認された。

⑥ 交通費について

3版：公共交通機関の実費請求額で対応する。
タクシー料金の請求については基本認めない。(講師の来場にタクシーが必要と判断した場合は、その理由を明記し、必ず領収書を添付してください。)
改定案：公共交通機関の予約は先方に任せ、新幹線や飛行機を利用した場合は、交通費が明記された領収書等を確認すること。
⇒承認された。

⑦ 宿泊費について

3版：講師、実務委員の宿泊代は、支出科目「旅費交通費」に計上する。
改定案：講師の宿泊代は、職務遂行に支障がある場合や旅行の状況、その他特別な理由がある場合、学術部長の承認を得て支給する。
支給額は、上限 15,000 円/1泊とし、実費支給する。
⇒意義なく、承認された。

⑧ 実技指導員に対する謝金、交通費・実務委員の行動費の支払いについて

3版：実技指導員については、実働 1~2 時間までは 5,000 円(税込 5,568 円)、
実働 2 時間以上が 10,000 円(税込 11,137 円)とする。
改定案：実習指導については、日臨技の行動費相当額である 3000 円/日とする。
上記、実習指導員謝金は学術部の承認を必要とする。実務委員の行動費については、
6 時間を超える研修会に対して 3,000 円/日とする。
研修会が 2 日間に及ぶ場合は 6,000 円/日とする。

佐藤：精度管理報告会・研修会はどういう取り扱いになるのか。
精度管理報告会における各部門の発表者には日当 3,000 円の支払いをする。
⇒意義なく、承認された。

⑨ 機材運搬費について

3版：機材運搬についての規定なし
改定案：機材運搬費(事務所⇔研修会会場)については、3,000 円を上限とする。
領収書に但し書きを記し、提出する。
⇒承認された。

*研修会参加費の値上げについては、総会にて会員へ丁寧に説明を行う。総会終了後に案内を出す
研修会から、会員参加費の値上げを適応することを確認した。非会員については、4月の研修会
より 5,000 円に値上げを行う。

【精度管理部】播磨晋太郎

1) 精度管理報告書の冊子の廃止について

精度管理費試料の輸送費が昨年度と比較して 10 万円以上高騰している。
精度管理報告書においてもページ数を削減しても、昨年以上の額が予想される。
そのため、冊子を廃止して、CD で各施設へ送付したい。HP への掲載は引き続き継続する。
⇒今後も輸送費の増大が見込まれるため、冊子の廃止し、CD への変更が承認された。

2) 精度管理事業の有料化について

法人会計が今年度で終了するため、精度管理事業を有料化したい。
⇒総会にて、精度管理事業有料化について報告する。
来年度の予算に組み込むように準備を進める。

4. 報告事項（別紙理事会資料・添付資料参照）

【事務局】鈴木里香

- 1) 宮臨技会員数は2019年11月10日現在、1120名である。
- 2) 日臨技対応：台風19号による被災状況報告
藤巻会長より、台風19号の各施設の被害状況（事務局把握分）についての報告がなされた。日臨技の規定としては、会員個人については家屋の損害の補償のみであり、申請者はいない。自動車の水没について、日臨技に問い合わせをしたが、現在のところ補償はない状況である。施設の被害としては、丸森国民健康保険丸森病院と仙南中央病院で浸水があった。仙南中央病院は機器を2Fに避難し、検査室として大きな問題は無かった。丸森国民健康保険丸森病院においては、被災直後はアークレイ社にPOCT機の支援をしてもらっていたが、外来診療も始まり、施設として復帰に向けて動き出している。
- 3) 会員周知：検体採取講習会の案内（HP掲載・一斉メール発信）、日本医学検査学会一般演題登録の案内（一斉メール）、台風19号被災状況確認（HP掲載・一斉メール）
齋藤和榮元宮臨技会長が宮城県文化の日表彰の保健衛生功労者として表彰された。
- 4) 物故会員：宮臨技会員（施設長に対応確認中）、元宮臨技会員（現青臨技会員）へ弔電
- 5) 発送作業（佐藤理事・大場事務員）：
北日本支部学会プログラム発送（4施設は開催県から直送対応）
定期便発送（施設と希望個人会員、賛助会員等）6月452通→9月215通に減少。
- 6) 大場事務員の雇用契約更新（雇用契約書の有休休暇について修正）
- 7) 研修会時の印刷物費用調査（1ページ当たり、カラー13.0円・モノクロ2.3円）
- 8) 事務所内不要品の廃棄見積もり：
A社 全部で6万円（税込み）個人情報シュレッダー対応
B社 軽トラ1台分で3万円+税（追加料金の可能性あり）
⇒A社で進める方向にする。
- 9) ポインター購入（赤1・緑1）
⇒10月26日生物化学分析部門研修会で使用したが、問題を認めなかった。

【学術部】小堺利恵

- 1) 宮臨技研修会、共催（企業含む）企画開催履歴（2019年9月2日以降）

※下線は宮臨技共催、参加者数は会員のみ

企業協賛研修会は太字記載

2019年9月7日	生理検査部門研修会	110名
2019年9月8日	輸血検査部門研修会	20名
2019年9月13日	<u>第9回宮城医療安全研究会</u>	<u>7名</u>
2019年9月14日	血液部門研修会	19名
2019年9月21日	一般検査部門研修会	43名
2019年9月28日	生理検査部門研修会	78名
2019年10月12日	<u>杜のみやこ臨床化学研究会5th 第1回</u>	<u>23名</u>
2019年10月19日	遺伝子・染色体部門研修会	22名
2019年10月26日	生物化学分析部門研修会	41名

2019年11月2日 第7回宮城県検査から診断・治療を考える会 7名

2)宮臨技研修会、共催（企業含む）企画開催予定（2019年11月10日以降）

※承認済の研修会、下線は宮臨技共催

企業協賛研修会は**太字記載**

2019年11月10日 生理検査部門研修会

2019年11月10日 臨床検査総合部門研修会

2019年11月30日 病理細胞診部門研修会

2019年11月30日 生物化学分析部門研修会

2019年12月7日 第9回東北病理技術研修会

2019年12月7日 臨床検査総合部門研修会

2019年12月21日 微生物部門研修会

一般検査部門の次回研修会は2020年2月9日（13時仙台市立病院）で行う予定である。前回の理事会での報告があった通りであるが、企画から開催まで学術部長がフォロー予定であるが、部門長からは日程の連絡のみである。

【精度管理部】 播磨晋太郎

1) 精度管理試料の発送について

台風の影響により、丸森国保町立病院、仙南病院、宮城県医師会健康センター仙南分室に配送不可。丸森国保町立病院、仙南病院は精度管理参加を辞退。宮城県医師会健康センター仙南分室は宮城県医師会健康センターにて、配送をお願い（血液試料の測定のみ辞退）。

2) 仙台市立病院に病理スライドを重複で発送（臨床検査科と病理部にそれぞれ発送）。

3) 試料発送の送料が昨年度に比べて10万円ほど増加（一件あたりの送料が500円の値上げ+消費税増税）

4) 精度管理研修会の講師をLSIメディエンス（株）志保裕行先生（前国立病院機構北海道がんセンター技師長）にお願いした。

【公益事業部】 小野寺桂子

1) 第14回大崎市健康と福祉のつどい：台風の影響により中止となった

2) ピンクリボン推進委員会主催講演会

10月27日（日）：乳癌健診啓発活動のボランティアスタッフとして武田理事、大森監事、小野寺が参加した。

3) 検査と健康展

11月4日にボランティアスタッフ用資料、担当表、配置図等を配信した。

検査専門医2名を含めた34名のボランティアスタッフが参加。

来場者数は124名であり、各検査は、肺年齢が111名、血管年齢103名、骨密度123名、頸動脈113名、物忘れ度チェックが92名であった。

4) 国民栄養調査への検査技師派遣

別紙の通り3名派遣の手配を行った（別紙公益①参照 配信のみ）

5) 12月の世界エイズデーに係るHIV・梅毒迅速検査会への検査技師派遣

12月1日（日）宮城県5保健所開催分

12月7日（土）仙台市開催分

別紙の通り派遣の手配を行った（別紙公益②参照 配信のみ）

年2回開催されるイベント時のHIV・梅毒迅速検査会について、気仙沼市立病院より協力いただけることになった。

【広報部】金沢聖美

- 1) 9月公営事業部 HP レイアウト変更
- 2) 10月27日 公益ピンクリボンボランティアに広報武田理事が参加。
- 3) 11月5日 HP 更新
- 4) 11月8日 元宮臨技会長 斎藤和榮氏が文化表彰授賞記事
- 5) Facebook ページにて以下、内容更新
 - ・検査と健康展
 - ・台風19号の被害の把握と支援のお知らせ
 - ・被災地避難所の方への啓蒙（高血圧学会に問い合わせの多かった質問のリンク）
 - ・精度管理事業発送業務 告知

藤巻会長：Facebookは1日どのくらい閲覧されているのか。

金沢理事：1日20件ほど閲覧されている。

配布資料

次第、前回議事録、理事会資料、各部門からの添付資料

次回理事会予定 令和2年 1月 31日（金） 19:00 ～

一般社団法人 宮城県臨床検査技師会

会長：藤巻 慎一

監事：大森 智子

監事：丸勢 共子